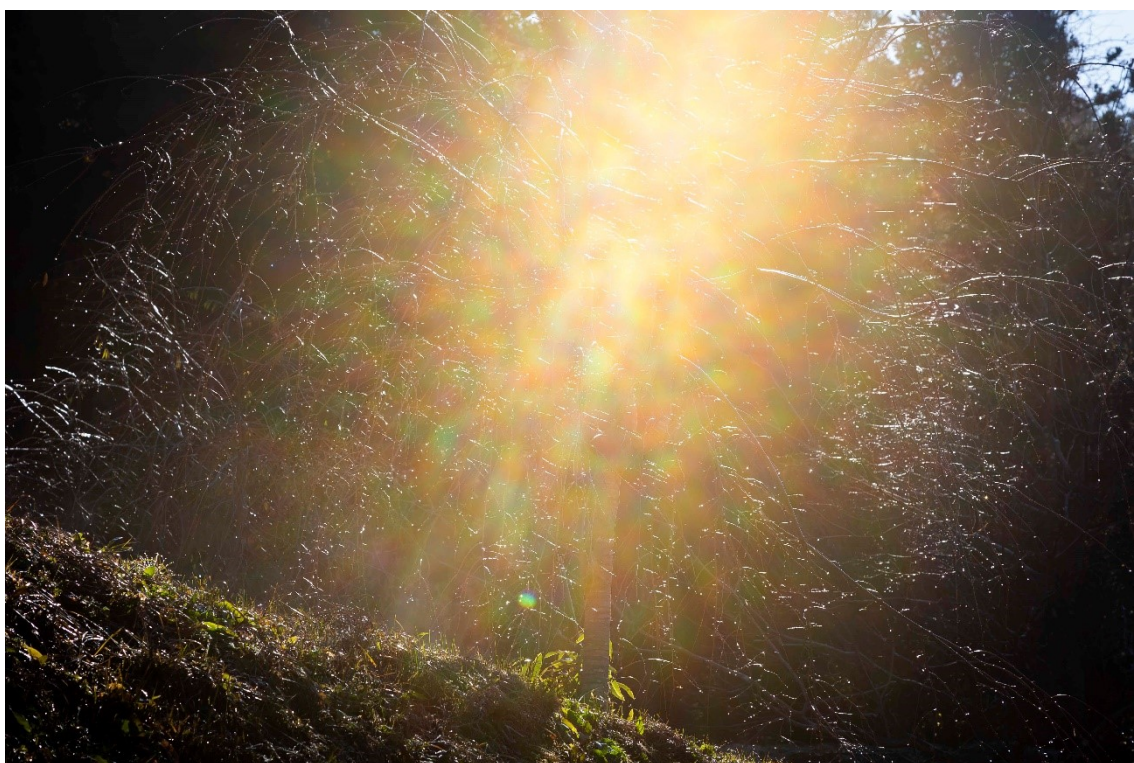


# 暮らしに根ざした阿武隈 150 年の山づくり

## 第 3 回 ミツバチの来る森を



日時	2023 年 3 月 18 日 (土) 11 時~15 時 30 分 (※雨天決行)
集合場所	ふくしま中央森林組合都路事業所 旧オガ工場 福島県田村市都路町古道字蒲生河原 26-1
参加費	無料 (※保険代は主催者側で負担します)
内容	裏面参照
持ち物	動きやすい服装、汚れてもよい靴、軍手、タオル、昼食、雨具
定員	30 名 (※先着順となります)
申込締切	2023 年 3 月 16 日 (木)
主催	特定非営利活動法人あぶくま山の暮らし研究所 (Abukuma Sustainable Life Institute) 電話 : 0247-75-2055 (事務局 荒井) E-mail : <a href="mailto:contact@asli.fukushima.jp">contact@asli.fukushima.jp</a> HP : <a href="http://asli.fukushima.jp/">http://asli.fukushima.jp/</a>

特定非営利活動法人あぶくま山の暮らし研究所は、田村市都路町を拠点に活動しています。私たちは、放射能汚染がもたらした被害に向き合いながら、豊かな山の資源を今から 150 年先の世代にまで手渡せるように、山の暮らしを紡いでいくことを目標にしています。

「暮らしに根ざした阿武隈 150 年の山づくり」は当法人が掲げる 150 年先の世代に手渡すモデルの山をつくる試みです。阿武隈に広がる広葉樹の山には、先人が懸命に生きてきた証が刻まれ、その時代の暮らしが映し出されています。

第 1 回と第 2 回は、薪炭時代の生き証人である都路町在住のお三方や、震災前まで原木シイタケ農家として生きてきた福島県原木椎茸被害者の会の皆さんを講師としてお招きして、これまでの阿武隈の山の暮らしの歴史を学び、木を植えました。

第 3 回となる今回は、いよいよ、今を生きる私たちが未来に向けて実践的な山づくりを行うために、昨年 10 月に当法人が主催した「あぶくま山のワークショップ」で作った日本ミツバチの巣箱を設置します。

ミツバチが来る森とはどんな森でしょうか。150 年先にまで思いを馳せながら、蜜源となる木と一緒に植えてみませんか。

#### 【当日のスケジュール】

- |                   |                                      |
|-------------------|--------------------------------------|
| 11:00-11:10 (10分) | 開会・挨拶／青木一典（あぶくま山の暮らし研究所 理事長）         |
| 11:10-11:40 (30分) | 日本ミツバチと蜜源のお話                         |
| 11:40-12:20 (40分) | 昼食（各自持参）                             |
| 12:20-12:35 (15分) | 樹種、植え方の説明                            |
| 12:35-12:45 (10分) | 移動（送迎あり）                             |
| 12:45-14:00 (75分) | 木を植える（場所：都路町頭ノ巣地区）<br>日本ミツバチの巣箱を設置する |
| 14:00-14:10 (10分) | 移動（送迎あり）                             |
| 14:10-14:30 (20分) | 当法人の紹介、活動報告                          |
| 14:30-15:25 (55分) | 交流会・意見交換会                            |
| 15:25-15:30 (5分)  | 閉会・挨拶／渡辺和雄（あぶくま山の暮らし研究所 理事）          |

※スケジュールは変更になる場合がございます。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、イベントが中止となる可能性もございます。予めご了承ください。

